

ecstasy

3534

Bogner 日本国内輸入代理店
株式会社ミュゼット・ジャパン / Musette Japan Co.,Ltd.
〒101-0048 東京都千代田区神田司町 2-16-7 第二小林ビル B1



安全にご使用頂くため取扱説明書をお読み下さい。



ご使用の前にコンセントの電源が正しい電圧であることをご確認下さい。
このアンプは内部に高電圧箇所があり大変危険です。絶対に中を触らないで下さい。

■MAINS INPUT & FUSE

本機の定格電圧は AC100V 50/60Hz となります。付属の電源ケーブルを MAINS INPUT ソケットに接続して下さい。
FUSE は必ず正しい値の物をお使い下さい。

持ち運びの際は電源がオフになっており、全てのコネクタからケーブルを抜いてあることを確認して下さい。

※重要

アンプ背面の SPEAKER OUT インピーダンスとスピーカーのインピーダンスは必ず一致させてお使い下さい。
インピーダンスのミスマッチング、またスピーカーを接続しない状態での使用はアンプを破損する恐れがあります。
スピーカーケーブルは良質で丈夫なタイプの物をご使用下さい。シールドケーブルは絶対に使用しないで下さい。

- Step 1. アンプ背面の SPEAKER OUT にスピーカーを接続して下さい。
- Step 2. 背面のメイン電源スイッチがオフであることを確認して下さい。
- Step 3. 付属の電源ケーブルを挿してからコンセントに接続して下さい。
- Step 4. フロントパネルのボリュームが0であることを確認して下さい。
- Step 5. フロントのインプットにギターを接続して下さい。
- Step 6. フロントパネルの STANDBY スイッチが STANDBY 状態であることを確認して下さい。
- Step 7. 背面のメイン電源スイッチをオンにして下さい。
- Step 8. 60 秒ほど待つてから STANDBY スイッチをオンにして下さい。
- Step 9. 少しずつボリュームを上げ適切な音量にして下さい。



このアンプは大変大きな音が出ます。スピーカーを耳に近づけたり
長時間の演奏は聴覚障害を及ぼす可能性があります。適切な音量で使用下さい。



■GREEN CH 1

本体フロントパネルの CH SELECT ボタンを繰り返し押すか、または FootSwitch の CH 1 ボタンを押すことにより直接選択できます。CH1 が選ばれてフロントパネルに GREEN の LED が点灯します。

CH 1 には GAIN 1、3 Band EQ、VOLUME 1、3 ポジション Pre EQ Bright スイッチがあります。美しいクリーントーンからクランチサウンドまで幅広くセッティングができます。

GAIN を上げ Volume を下げると低音域と高音域が付加された FAT でダイナミックなサウンドが得られます。一方で GAIN を下げ Volume を上げるとコンプレッションのあるまとまりの良いサウンドが得られます。コンパクトペダルとの相性も良い CH です。

■BLUE CH 2

本体フロントパネルの CH SELECT ボタンを繰り返し押すか、または FootSwitch の CH 2 ボタンを押すことにより直接選択できます。CH 2 が選ばれるとフロントパネルに BLUE の LED が点灯します。

Bogner と言えば有名なのがこの BLUE CH です。この CH ひとつで BLUES, CLASSIC ROCK, HARD ROCK まで幅広いサウンドをお楽しみ頂けます。

CH 2/3 は Treble, Middle, Bass のトーンコントロールは共通となりますので各 CH のバランスを取るのが大切です。GAIN, VOLUME, Pre EQ は個別に調整が可能です。

Pre EQ ボイシングスイッチはギターや好みに合わせ積極的に音作りが行えます。Pre EQ は GAIN の設定が低い場合に効果を発揮します。B2 モードでは GAIN が低い場合は引き締まった攻撃的なサウンドを、GAIN を上げると低音が強調されながら刺激的なサウンドが得られます。

■RED CH 3

本体フロントパネルの CH SELECT ボタンを繰り返し押すか、または FootSwitch の CH 3 ボタンを押すことにより直接選択できます。CH 3 が選ばれるとフロントパネルに RED の LED が点灯します。

RED CH は HARD ROCK から METAL、そしてリードに最適です。独立した GAIN, VOLUME, Pre EQ により多彩なトーンが選べます。

■GAIN BOOST

本体のフロントパネルか FootSwitch の Boost スイッチを押すことにより CH 2/3 に更なる GAIN BOOST ができます。

■ Global Excursion Voicing

このスイッチは様々なスピーカーキャビネット、プレイする部屋の特徴、またギターリストそれぞれの個性に合わせてトーンキャラクターを調整することができます。

Presence コントロールと共に調整して下さい。



フロントパネル (左から)

STANDBY :

STANDBY スイッチは真空管を動作させる高電圧を加えるスイッチです。背面の POWER スイッチを入れ STANDBY のままウォームアップすることにより真空管の寿命を伸ばします。

PRESENCE :

パワーアンプ部で中高音域より上の音色を加えます。全てのチャンネルに作用します。

EXCURSION :

パワーアンプの NFB を利用しスピーカーボイスイングをコントロールします。全てのチャンネルに作用します。

T (Tight) タイトでオープンそしてハリ感のあるサウンド

L (Loose) ルーズでオープンより大きなサウンド

D (Dark and Deeper) ダークでより深いサウンド

VOLUME1 : Channel 1(GREEN) のボリュームです。

TREBLE : Channel 1 のトレブルコントロールです。

MIDDLE : Channel 1 のミッドコントロールです。

BASS : Channel 1 のローコントロールです。

PRE EQ CH 1 : 3 ポジションのブライトスイッチです。

B1 : 高音域が煌びやかなサウンド

N : ファットでウォームなサウンド

B2 : ハリ感と勢いのあるサウンド

GAIN 1 : Channel 1 のゲインです。クリーンからブレイクアップしたクランチサウンドに調整できます。

VOLUME 3 : Channel 3(RED) のボリュームです。

VOLUME 2 : Channel 2(BLUE) のボリュームです。

TREBLE : Channel 2/3 のトレブルコントロールです。

MIDDLE : Channel 2/3 のミッドコントロールです。

BASS : Channel 2/3 のローコントロールです。

PRE EQ CH3 : 3 ポジションのブライトスイッチです。

B1 : 高音弦側の倍音を強調するサウンド

N : ファットでウォームなサウンド

B2 : 攻撃的でサステインのあるサウンド

GAIN 3 : Channel 3 のゲインです。

PRE EQ CH2 : 3 ポジションのブライトスイッチです。

B1 : 高音弦側の倍音を強調するサウンド

N : ファットでウォームなサウンド

B2 : 攻撃的でサステインのあるサウンド

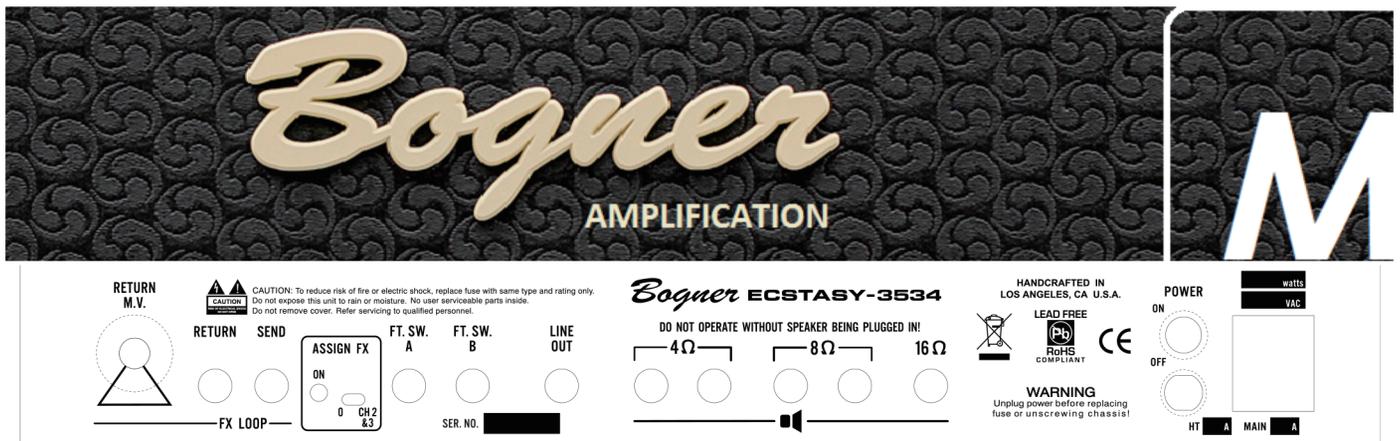
GAIN 2 : Channel 2 のゲインです。

BOOST : CH 2/3 に用意された BOOST スイッチです。

INPUT : ギターからのインプットジャックです。

CHANNEL SELECT : ボタンを押す毎に CH が順に変わります。

BOOST : CH 2/3 のみに有効な BOOST スイッチです。



リアパネル (左から)

RETURN M.V. :

エフェクトループのリターンレベルです。またマスターレベルとしてお使いになれます。FX Loop がアクティブの時のみ有効です。

RETURN : Loop に接続された機材の OUTPUT を繋ぐエフェクトリターンジャックです。FX Loop がアクティブの時のみ有効です。

SEND : Loop に接続された機材の INPUT を繋ぐエフェクト SEND ジャックです。FX Loop がアクティブの時のみ有効です。

ON : シリーズ FX Loop のオンオフスイッチです。プッシュで FX Loop がオンになります。

ASSIGN FX: CH 2/3 ポジションでは CH 2/3 を選択した際に自動的に FX Loop がオンとなります。CH 1 はオフになります。

FOOTSWITCH A : FootSwitch A を接続する TRS コネクターです。

FOOTSWITCH B : FootSwitch B を接続する TRS コネクターです。

LINE OUT : POST パワーアンプ部のラインアウトです。

4 OHM SPEAKER OUT :

4 ohm キャビネット 1 台か 8 ohm キャビネット 2 台のいずれかを接続します。

8 OHM SPEAKER OUT :

8 ohm キャビネット 1 台か 16 ohm キャビネット 2 台のいずれかかを接続します。

16 OHM SPEAKER OUT :

16 ohm キャビネット 1 台を接続します。

POWER : メイン電源スイッチです。

H.T FUSE :

H.T FUSE ソケットです。Slow Blow タイプの FUSE のみお使いになれます。主にパワー管に問題がある場合に回路を保護します。

MAINS INPUT : IEC タイプの電源ケーブルを接続します。

MAIN FUSE :

IEC コネクターに内蔵された FUSE ソケットです。Slow Blow タイプの FUSE のみお使いになれます。この FUSE が頻繁に飛ぶ場合アンプに重大な問題がある場合がございますので、お買上げ頂いた販売店へお問い合わせ下さい。



■SERIES EFFECT LOOP

本機には高音質なバッファードエフェクトループを搭載しています。エフェクトループをお使いの際はリアパネルのエフェクトループのスイッチをオンにしてください。

SEND ジャックから空間系エフェクターのインプットに、RETURN には空間系エフェクターのアウトプットを接続して下さい。

エフェクトループの SEND からの出力レベルは各 CH の Volume により決定されます。ループに接続されたエフェクターのインプットがオーバーロードしないレベルが理想的なレベルとなります。背面の MV (Master Volume) でシステム全体の音量を調整して下さい。

■Automatic FX Loop Assign

この機能を使うと CH 2/3 は FX Loop が常時オンとなりループに接続された空間系エフェクターが効いた効果が得られます。その際 CH 1 はループオフになります。アンプ前に接続したエフェクターでレンジの広いサウンドを得ることができます。

※背面のスイッチをポジション 0 にすると全ての CH で Loop オンオフが可能です。

※Assign 2/3 が選択されている場合でも Loop スwitch をオンにすると CH 1 も Loop オンとなります。

■FOOT CONTROLLER & SWITCHING

ECSTASY 3534 は本体のみでも CH 切り替えが行える他、付属のフットコントローラーでも制御が可能です。

※電源投入時は CH 3 が自動的に選択されます。

フロントパネル INPUT ジャック近くにある CH セレクトスイッチを押すと RED→BLUE→GREEN→RED.... の順にチャンネルが選択可能です。

チャンネルを直接選択したい場合は FootSwitch をお使い下さい。

BOOST 機能は FootSwitch、または本体インプットジャック付近のスイッチでオンオフができます。BOOST がオンの場合は LED インジケーターが点灯します。

※これらの CH 切替は RJM Mini Amp Gizmo の様な外部機材からもコントロールができます。

TRS Jack の割り当ては下記の通りです。

Connector A :	Connector B :
Tip = Ch 2	Tip = Ch 1
Ring = Boost	Ring = Ch 3
Sleeve = Ground	Sleeve = Ground



製品仕様

型番 : ECSTASY 3534

消費電力 : 240Watts

100V 仕様 :

Mains Fuse SB 3A,250V(5x20mm)

H.T Fuse SB 0.5A,250V

パワーアンプ出力 : 45W RMS @5%

THD,1Khz sine at 16ohm 負荷

パワーアンプ出力インピーダンス :

4-ohm, 8-ohm, 16-ohm

インプットインピーダンス : 1Meg Ohm

寸法 :

高さ : 240mm(ハンドル・ゴム足含まず)

横幅 : 490mm

奥行 : 210mm

重量 : 13.5Kg

FX Loop:

Send : -10dBV (Stompbox Level)

Return : -10dBV (Stompbox Level)

ラインアウト : +4dBu

プリアンプチューブ : 4 x ECC83

(ローマイクロフォニックチューブを推奨)

パワーアンプチューブ : 2 x EL34

電源コード : IEC (付属)

フットコントローラー :

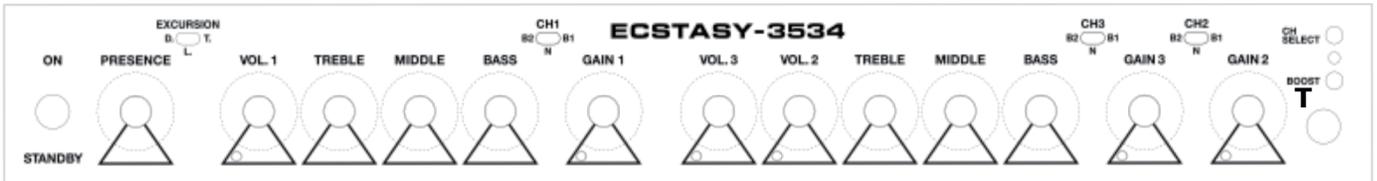
4 ボタンフットスイッチ (付属)

※仕様は予告なく変更する場合がございます

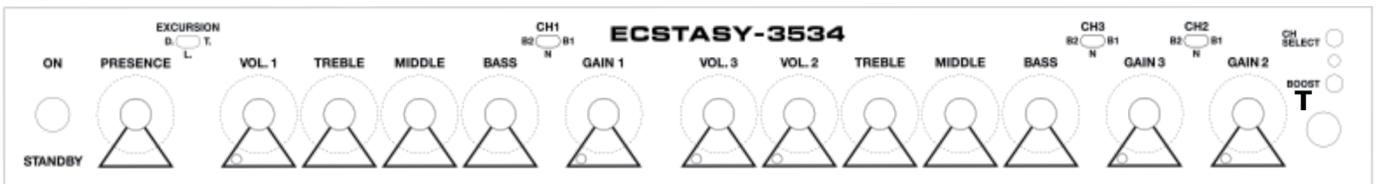


Setting Memo

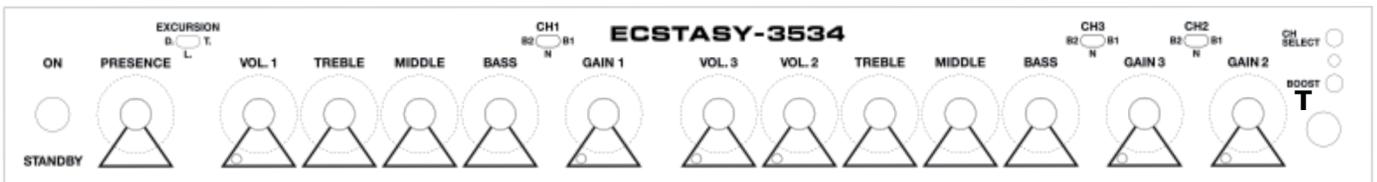
■Set 1



■Set 2



■Set 3



■Set 4

